



パンフレットNo.AW130

2004年6月作成

工 業 用

### 缶体洗浄剤

## センカクリンH-15E

(SENKA CLEAN H-15E)

一般的に汚れを機材から除去するには、汚れに洗浄溶液が浸透（浸透作用）、汚れを固体面から分離・分散（分離・拡散作用）、汚れを外へ除去（機械的作用）が必要となります。

センカクリンH-15Eはカセイソーダ等アルカリ剤と併用することにより、染色機に付着した染料レーキ、オリゴマーを速やかに分解除去できる洗浄剤です。

本品はP R T R 法指定物質、環境ホルモン該当物質を含有しておりません。

### 性 質 ・ 性 状

外 觀	無色～淡黄色液体
成 分	芳香族系アニオン活性剤配合
イ オ ン 性	アニオン・ノニオン
p H	約 6.5 (1%水溶液)
溶 解 性	任意の水に溶解します。

### 特 徵

1. カセイソーダ等アルカリ剤と併用することにより、染色機に付着したオリゴマー等を分解除去します。
2. 酸化剤（過酸化水素）または還元剤（ハイドロサルファイト等）と併用することにより染色機に付着した染料を分解除去します。



センカクリン H-15E

## 使　用　方　法

汚れの程度、染色機の種類により異なりますが、標準使用量は2～4g/Lです。

標準処方：分散染料染めを行った高圧洗浄機

還元処方	センカクリンH-15E	1～2g/L
	ハイドロサルファイト	2～4g/L
	(または二酸化チオ尿素)	3g/L
	N a O H (フレーク)	2～4g/L

120～130°C×30～60分洗浄後廃液し、充分に水洗。

## 使　用　上　の　注　意

- ・水質不良等によるカルシウムスケールの除去にはEDTA等のキレート剤を併用して下さい。
- ・汚れの著しい場合は、できるだけ洗浄温度を高くするか、またはアルカリを多めに使用して下さい。

## ご　注　意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

## 入　　目

18kg



センカクリン H-15E

### 取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当を受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当を受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行って下さい。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所（5℃～35℃）で保管して下さい。
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

### お　願　い

弊社発行の「製品安全データシート（M S D S）」を用意しております。併せてご活用下さい。